

栗国空港のパブリック・インボルブメント

実施記録

平成 23 年 3 月

栗国空港協議会

栗国空港のパブリック・インボルブメント実施記録

目 次

(頁)

1 . P I 活動結果	1
(1) 周知・P R 活動	1
(2) 情報の提供と意見収集活動	3
2 . 寄せられた回答の分析	6
(1) 寄せられた回答数	6
(2) 分析方法	7
(3) 分析結果	11
3 . P I 活動結果の評価	24
(1) 評価方法	24
(2) P I 活動の評価	25
(3) P I 活動の総合評価	29
4 . P I 評価委員会の評価・助言	30
(1) 第 3 回栗国空港 P I 評価委員会の概要	30
(2) 第 4 回栗国空港 P I 評価委員会の概要	33
(3) 栗国空港 P I 評価委員会規約	36
5 . P I の終了について	38
6 . 今後の取組みについて	39

参考資料

- ・ P I 実施計画書
- ・パンフレット (P I の進め方について)
- ・パンフレット (調査報告書)
- ・ P I 活動の実施状況 (記事、写真)

はじめに

粟国島は、那覇市の北西およそ 60km に位置する一島一村の島です。

沖縄本島と粟国島を結ぶ交通は、1日1往復の船舶と1日複数便の定期航空路がありましたが、定期航空路は平成21年5月にパイロットの定年退職等に伴って運休となりました。

現在は別の航空会社による小型プロペラ機のチャーター運航によって航空路が維持されていますが、航空会社の経営、小型機の数、新しい小型機の生産動向が不透明な状況を踏まえると、粟国空港の滑走路長を延長しなければ、いずれ就航できる航空機材が無くなり、飛行機を利用できなくなる恐れがあります。

実際、平成22年7月には、運航会社の採算性の悪化により同年9月15日から運休する意向が公表されるなど航空路存続の危機が現在も継続している状況であります。

このような背景から、沖縄県、粟国村で構成される「粟国空港協議会」では、島民のみなさまが豊かで活力に満ち、安心して暮らせるよう、地域の振興を図る観点から、航空輸送能力の向上と安定運航を目的に、粟国空港の将来の対応方策に向けた取り組みを協議しながら進めています。

平成22年4月には粟国空港整備計画に関するパブリック・インボルブメント（P I）実施計画書を策定し、これに基づき、平成22年11月末から平成23年1月上旬までの約1カ月間は「粟国空港の整備計画」について事業の必要性や施設計画の妥当性等について意見を伺うP I活動を行いました。

本冊子は、粟国空港のP I評価委員会の評価・助言を受けて、粟国空港のP I活動の実施記録をとりまとめたものです。

平成23年3月
粟国空港協議会



1 . P I 活動結果

(1) 周知・ P R 活動

粟国空港の整備計画（案）に関する意見の募集に先立ち、平成 22 年 11 月 15 日から平成 22 年 11 月 28 日の間、粟国村や沖縄県内を中心に P I 活動の周知・ P R 活動を行いました。

粟国村の各世帯への P R チラシの配布をはじめ、役所や交通ターミナルにおける P R ポスターの掲示、ラジオ放送による呼びかけ、行政広報誌や県庁ホームページへの掲載など、積極的な活動を行いました。

周知・ P R 活動結果

手法	媒体・場所	実施期間
ラジオ放送	ラジオ県民室（3局で放送） ラジオ沖縄、RBCiラジオ FM沖縄	11月22日 11月24日
ポスター掲示 （190部）	粟国村役場、沖縄県庁・各市町村 粟国空港、那覇空港 他 別紙参照	P R 活動期間
チラシの配布 （2,400部）	粟国村各世帯配布 離島フェア 他 別紙参照	P R 活動期間
ホームページへの 情報掲載	沖縄県トップページ 空港課ホームページ 粟国村ホームページ	P R 活動期間

周知・ P R 活動の例

P R チラシ



ポスター掲示

粟国空港



粟国港



那覇空港駅



離島フェア



PRポスター、PRちらしの配布・備え置き先

ポスター、ちらしの配布・備え置き場所内訳		配布枚数(実施)		備考 (チ:ちらし、ポ:ポスター)	
		ちらし	ポスター		
沖縄県	空港課、県民ホール	50	2		
	土木企画課	50	3		
	県庁各階等		9		
	行政情報センター(本庁・北部合同庁舎)	60			
	行政情報コーナー(宮古・八重山事務所)	60			
	交通政策課	50	1		
	地域・離島課	50	2		
	市町村課	50	1		
	観光振興課	50	1		
	土木事務所(北部・中部・南部・宮古・八重山)	90	15		
	新石垣空港課・新石垣空港建設事務所		3		
	沖縄県東京事務所	50		追加実施	
	小計(1)	560 枚	37 枚		
粟国村	粟国村各世帯	440			
	粟国村役場	100	10		
	粟国港ターミナル	100	5		
	粟国空港	50	5		
	JA粟国支店		1		
	粟国村漁業協同組合		1		
	粟国郵便局		1		
	粟国村各地区(字西、字東、字浜)		11		
	粟国小中学校		1		
	粟国村観光協会	70	1		
	小計(2)	760 枚	36 枚		
その他	那覇市役所 総務部 総務課	150	5		
	浦添市役所 総務部 総務課	50	1		
	県内市町村(那覇市・浦添市除く)		31		
	日本トランスオーシャン航空(株)	10	3		
	琉球エア・コミューター(株)	10	3		
	第一航空(株)	20	3		
	那覇空港(那覇空港ビルディング(株))	150	3		
	那覇空港事務所	10	2	追加実施	
	石垣空港管理事務所	50	1		
	宮古空港管理事務所	50	1		
	久米島空港管理事務所	30	1		
	慶良間空港管理事務所	30	1		
	南大東空港管理事務所	30	1		
	北大東空港管理事務所	30	1		
	多良間空港管理事務所	30	1		
	波照間空港管理事務所	30	1		
	与那国空港管理事務所	30	1		
	下地島空港管理事務所		1		
	沖縄都市モノレール(株)	50	3	チ:那覇空港 ポ:那覇空港、県庁前、首里、各1枚	
	泊港旅客ターミナル	50			
	離島フェア	90			
	沖縄観光コンベンションビューロー	100		追加	
	銀座わしたショップ	5		追加	
	わしたショップ大阪天神橋筋店	5		追加	
	わしたショップ神戸三宮店	5		追加	
		小計(3)	1,015 枚	64 枚	
	合計(=小計(1)~(3))		2,335 枚	137 枚	

(2) 情報の提供と意見収集活動

粟国空港の整備計画(案)について「調査報告書(冊子)」を作成しました。

この調査報告書は、平成22年11月29日より粟国村の各世帯に配布するとともに、役所、空港、船舶ターミナル、沖縄都市モノレール駅などの交通ターミナルに備え置きました。沖縄県ホームページにも調査報告書を掲載し、何時でも何処でも調査報告書を閲覧できるようにしました。

また、県庁一階県民ホールや粟国空港におけるパネル展示、行政広報誌への掲載など、調査報告書による情報の提供や意見募集のPR活動を行いました。

さらに、粟国村と那覇市内の2か所で説明会を開催し、調査報告書を詳しく説明するとともに、質疑応答を実施しました。

意見の表明方法は、調査報告書に折り込んだハガキへ記入する方法、ホームページから直接記入する方法の2つの方法を用意しました。ハガキの回収方法は、ポストに投函して頂く方法のほか、粟国空港協議会事務局、説明会、パネル展示会等に設けた意見収集箱に投函して頂く方法を用意しました。

粟国村の方々からの意見収集においては、粟国村の区長をはじめとした自治組織や沖縄本島在住の郷友会にも協力いただきました。

情報の提供と意見収集活動結果

手法	媒体・場所	実施期間
行政広報誌への 記事掲載	広報あぐに	掲載号：12月号
	美ら島沖縄	掲載号：12月号
調査報告書の 配布・備え置き (計画4,000部) (配布3,520部)	沖縄県、粟国村各世帯 ほか (調査報告書の配布実績 参照) 那覇市の説明会では、説明会終了後に郷友会の代表者に調査報告書を持ち帰り頂き、新年会など大勢が集まる場所で冊子を配布して頂きました。	情報提供・意見募集期間
地元説明会	粟国村離島振興総合センター	平成22年11月29日
	沖縄県市町村自治会館	平成22年12月6日
パネル展示	沖縄県庁1階県民ホール	平成22年11月29日 ～平成22年12月17日
	沖縄県庁10階空港課 粟国空港	平成22年11月29日 ～平成23年1月7日
ホームページへの 情報掲載	沖縄県トップページ 土木建築部空港課ホームページ 粟国村ホームページ	情報提供・意見募集期間
意見収集	714通	情報提供・意見募集期間

情報の提供と意見収集活動

調査報告書の配布

沖縄県庁

1階県民ホール



那覇空港内

(第一航空カウンター)



粟国空港



説明会

粟国村：粟国村離島振興総合センター



那覇市：沖縄県市町村自治会館



パネル展

沖縄県庁 1階県民ホール



粟国空港



観光PR活動

観光チラシ



粟国空港

コースター（粗品）



調査報告書の配布・備え置き実績

調査報告書等の配布・備え置き場所内訳		配布部数(実施)		粗品 コースター	備考
		調査報告書	観光PRチラシ		
沖縄県	空港課	30	30		意見募集期間
	県民ホール	127	127		パネル展示期間
	土木建築部 各課	30	30		
	行政情報センター(本庁・北部合同庁舎)	50	50		
	行政情報コーナー(宮古・八重山事務所)	60	60		
	交通政策課	5	5		
	地域・離島課	1	1		
	市町村課	1	1		
	観光振興課	1	1		
	土木事務所(北部・中部・南部)	90	90		
	その他	34	50		
小計(1)		429 枚	445 枚	0	
粟国村	粟国村各世帯	880			
	粟国村役場	67	150	500	
	粟国港ターミナル(フェリー内含む)	34	13	100	
	粟国空港	26	19	400	
	粟国村 各地区(字西、字東、字浜)	11			
	粟国村観光協会	5	5	1,000	
	小計(2)	1,023 枚	187 枚	2,000	
その他	那覇市役所 総務部 総務課	50	50		
	浦添市役所 総務部 総務課	50	50		
	日本トランスオーシャン航空(株)	50	50		
	琉球エア・コミューター(株)	50	50		
	第一航空(株)	300	200	400	
	那覇空港事務所	100	100		
	沖縄観光コンベンションビューロー	100	100	100	
	石垣空港管理事務所	50			
	宮古空港管理事務所	50			
	久米島空港管理事務所	30			
	慶良間空港管理事務所	30			
	南大東空港管理事務所	30			
	北大東空港管理事務所	30			
	多良間空港管理事務所	30			
	波照間空港管理事務所	30			
	与那国空港管理事務所	30			
	沖縄都市モノレール(株)	750	750		各駅50部
	泊港旅客ターミナル	50	50		
	那覇バスターミナル	25	25		
	銀座わしたショップ	1	200		
	わしたショップ大阪天神橋筋店	1	200		
	わしたショップ神戸三宮店	1	200		
	説明会(那覇市開催)	230	230		郷友会へ持ち帰り
小計(3)		2,068 部	2,255 枚	500	
合計(=小計(1)~(3))		3,520 部	2,887 枚	2,500	

2. 寄せられた回答の分析

(1) 寄せられた回答数

意見募集期間中にハガキやメールで寄せられた意見募集用紙での回答の合計は 714 通（回答数）であり、回収率は 20% になりました。（714 通 / 配布部数 3,520 部 = 20%）

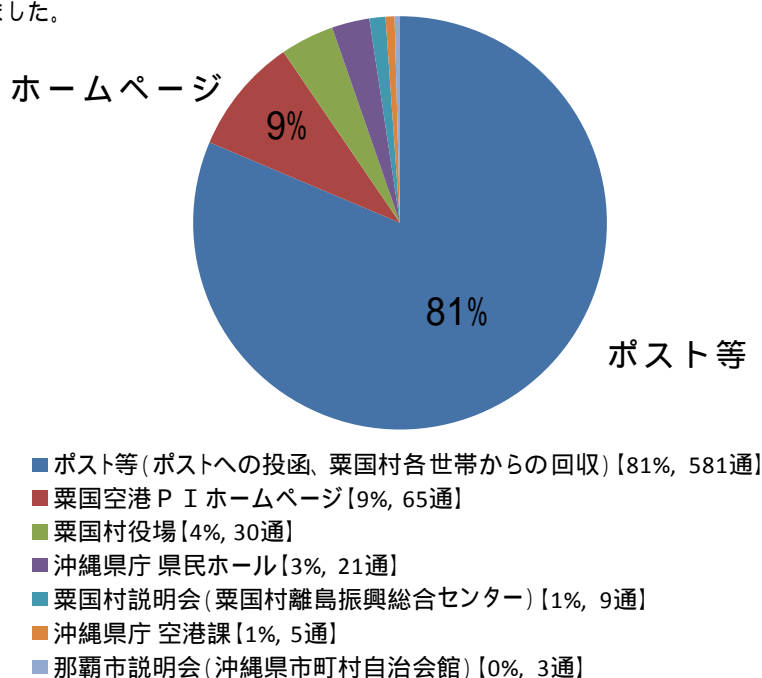
寄せられた回答の回収場所では、ポストへの投函が最も多く 581 通と全体の約 8 割を占めました。粟国空港 P I ホームページへのメールも 65 通と 2 番目に高い割合を占めました。

寄せられた 714 通の回答数のうち、自由意見が書かれていたものが 313 通（意見を述べた人）あり、この自由意見を内容別に分類すると 480 件（意見数）に整理されました。

回答の回収結果

手段	回収場所・方法	回収数
ハガキ	粟国村役場	30 通
	沖縄県庁 県民ホール	21 通
	沖縄県庁 空港課	5 通
	粟国村説明会（粟国村離島振興総合センター）	9 通
	那覇市説明会（沖縄県市町村自治会館）	3 通
	ポスト等（ポストへの投函、粟国村各世帯からの回収）	581 通
ホームページ	粟国空港 P I ホームページ	65 通
合計		714 通

意見募集期間は 11 月 29 日～1 月 7 日であるが、ハガキは 1 月 8 日以降に受理した回答も集計対象とした。ホームページについては、1 月 11 日（月）にホームページ上での募集を終了し、同日までの回答を集計対象としました。



(2) 分析方法

ハガキやホームページの回答内容をもとに、回答した人の属性、P I 活動を知ったメディア、調査報告書への興味、情報提供内容の理解度、将来の対応方策を検討する上で重要と思う項目、自由意見について分析しました。

このうち、 から までは、設問に選択方式を採用しているので、得られた回答の統計をとることで回答内容を明らかにしました。

また、 については、ひとつひとつ確認し、分類項目を決めて整理しました。いただいた 1 通の意見の中に、3 つの分類項目に該当する内容がある場合は、1 通の回答で 3 件の意見があるように分類・整理しました。

分析対象とする項目と意見募集用紙

回答した人の属性（性別、年齢、職業、居住地）

P I 活動情報を知った情報メディア（ご意見募集用紙：問 1）

調査報告書への興味（問 2）

情報提供内容の理解度（問 3 ~ 9）

将来の対応方策を検討する上で重要と思う項目（問 10）

寄せられた自由意見の分類（問 11）

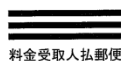
配布した意見募集用紙（表面）

栗国空港の整備計画(案)について
パブリック・インボルブメント(PI)
～調査報告書に関するご意見募集～

- 「栗国空港の調査報告書」をお読みいただきありがとうございました。
- 裏面の設問に対する回答やご意見を回答記入欄にご記入ください。
- 記入いただいた回答(ハガキ)は、沖縄県土木建築部空港課並びに栗国村経済課、説明会の会場などに設置している意見募集箱に投函していただくか、ご郵送ください。また、ホームページ(<http://www.pref.okinawa.lg.jp/airport/index/>)からもご意見をお寄せいただくことができます。

- ご意見は平成23年1月7日(金)までにお寄せ下さい。
- みなさまからいただいたご意見は、個人が特定される情報を除き、取りまとめて公表する予定です。

郵便はがき



1 1 3 8 7 9 0



差出有効期間
平成23年1月
31日まで
(切手不要)

東京都文京区本郷5丁目33番地10号
株式会社 日本空港コンサルタンツ 計画部
栗国空港PIに関する意見募集 事務局 行



【PI実施に関するお問い合わせ先】

沖縄県土木建築部空港課
TEL:098-866-2400
FAX:098-869-6279
沖縄県栗国村経済課
TEL:098-988-2016
FAX:098-988-2206

ご意見の集計業務については、
(株)日本空港コンサルタンツに委託しております。

あなたのことについて教えてください

住所	都道府県	市郡	区町村
性別	男	女	
出身	栗国村出身	その他: 県内・県外()	
年齢	20歳未満	20代	30代 40代
	50代	60代	70歳以上
職業	会社員、自営業、公務員		
	学生、生徒(高校・中学・小学)		
	無職	その他()	
	農林業、漁業、建設業、製造業、運輸・郵便業 宿泊業・飲食サービス業、教育、医療・福祉 その他()		

配布した意見募集用紙（裏面）

問1: 今回の意見募集が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

(回答は複数でも可能です。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください)

- | | | | | |
|---------------------|--------------|--------------------------|-----------|-------------|
| 1. 調査報告書の配布 | 2. ポスター・パネル展 | 3. ホームページ | 4. 行政の広報誌 | 5. 新聞・ラジオなど |
| 6. 周囲の人などからの伝言(口コミ) | 7. 説明会 | 8. その他(内容を回答記入欄にご記入ください) | | |

問2: 今回ご提供した「栗国空港の調査報告書」の内容について、興味をもちましたか。

(回答は1つです。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください)

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------------|----------|
| 1. とても興味深かった | 2. 興味深かった | 3. あまり興味がもてなかった | 4. 興味がない |
|--------------|-----------|-----------------|----------|

【↓回答記入欄】

問1	1・2・3・4・5・6・7 その他 ()
問2	1・2・3・4
問3	1・2・3
問4	1・2・3
問5	1・2・3
問6	1・2・3
問7	1・2・3
問8	1・2・3
問9	1・2・3

問10 栗国空港の将来の対応方策を検討する上で、
何が重要だと思いますか。

- 下の中から2つ以内で選んで、チェックしてください
- | | |
|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 自然環境 | <input type="checkbox"/> 社会環境 |
| <input type="checkbox"/> 事業費(コスト) | <input type="checkbox"/> 土地利用(牧場など)への影響 |
| <input type="checkbox"/> 早期整備 | <input type="checkbox"/> 現空港の活用 |

- 「飛行機の大きさ」と「便数」について
どちらかをひとつを選んで、チェックしてください。
- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 小さな飛行機(9席・19席)で1日に複数往復 |
| <input type="checkbox"/> 大きな飛行機(39席)で1日に1往復 |

問11 ご自由にご意見をお寄せください

自由 回 答 欄	

以下の問3～9の設問は、お読みいただいた「栗国空港の調査報告書」の内容について、どの程度ご理解いただけたかをお伺いするものです。以下の設問に対する答えをハガキの回答欄にご記入ください。

(各設問につき回答は1つです。回答記入欄の該当する番号を○で囲んでください)

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| 1. 理解できた | 2. ある程度理解できた | 3. よくわからない |
|----------|--------------|------------|

問3: 「整備計画(案)への意見募集と進め方」について
(1 ページ)

問4: 「1 栗国村のむらづくり」について
(2～4 ページ)

問5: 「2 栗国村の現状と島外交通」について
(5～6 ページ)

問6: 「3 飛行機と滑走路の長さ」について
(7 ページ)

問7: 「4 長い滑走路を整備するとしたら」について
(8 ページ)

問8: 「現空港を活用する案」について
(9 ページ)

問9: 「5 栗国空港の2つの整備計画(案)」について
(9～10 ページ)

自由意見を分類する方法

- (1) 複数の内容を含む自由意見については、意見を分割して整理します。
- (2) 各意見は以下の6つのグループに分類し整理しました。
 - 意見募集に関する意見
 - 航空の必要性に関する意見
 - 航空サービスに関する意見
 - 将来の対応方策に対する意見
 - 空港整備の妥当性に対する意見
 - その他
- (3) 6つのグループ毎に整理した意見は、さらに内容別に分類・整理します。

～ 複数の内容を含む自由意見の分割・分類・整理のイメージ～

(1) 複数の内容を含む自由意見については、意見を分割して整理します。

(ひとつの自由意見)

・粟国村は自然環境に恵まれておりますが、面積が狭小で土地の有効利用から滑走路はリーフの方に延長した方がよい。現在の滑走路を有効利用し、便数の多い19人乗りの規模の機種が望ましい。39人乗りの機種では、1度に何人が乗れるが、採算がとれないのではないのでしょうか

(3つの意見に分割)

A：面積が狭小で土地の有効利用から滑走路はリーフの方に延長した方がよい。

B：便数の多い19人乗りの規模の機種が望ましい。

C：39人乗りの機種では、1度に何人が乗れるが、採算がとれないのではないのでしょうか

(2) 各意見は、6つのグループに分類し整理します。

A：面積が狭小で土地の有効利用から滑走路はリーフの方に延長した方がよい。

B：便数の多い19人乗りの規模の機種が望ましい。

C：39人乗りの機種では、1度に何人が乗れるが、採算がとれないのではないのでしょうか

各意見を下記のグループに振り分けます。

- 意見募集に関する意見
- 航空の必要性に関する意見
- 航空サービスに関する意見
- 将来の対応方策に対する意見
- 空港整備の妥当性に対する意見
- その他

この例では、3つのグループに分類・整理しました

(3) 6つのグループ毎に整理した意見を、さらに内容別に分類・整理します。
(その結果、それぞれの意見は合計480件に整理されました)

(3) 分析結果

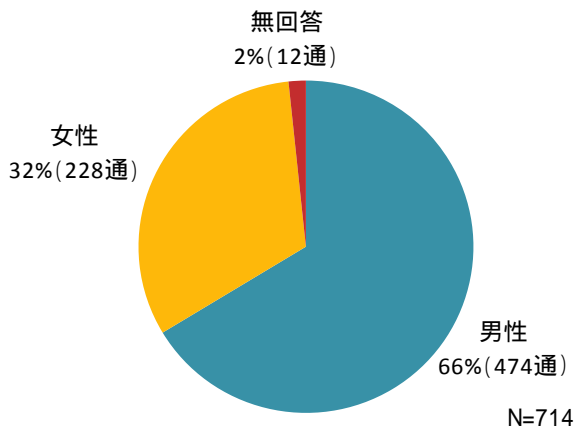
回答した人の属性 (性別、年齢、職業、居住地)

性別：回答者の性別割合は、男性が 66%、女性が 32% でした。

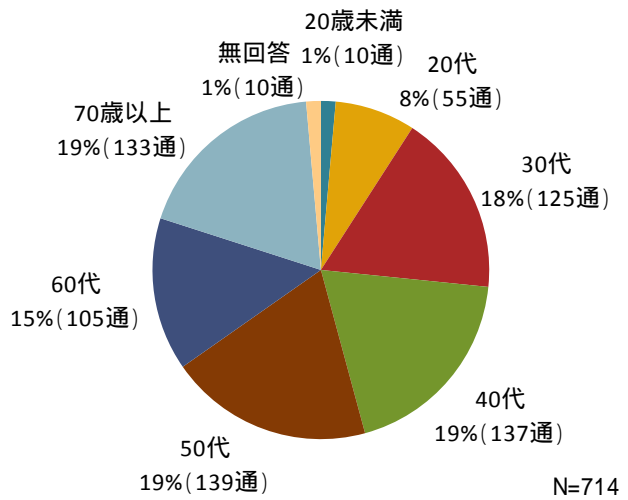
年齢：各年齢層から意見が寄せられた。

職業別：会社員 22%、公務員 14%、自営業 7% と就業者の回答は全体の半分以下でした。就業者の業種は、無回答が 6 割を占め、無回答以外では農林業と建設業が多く見られます。

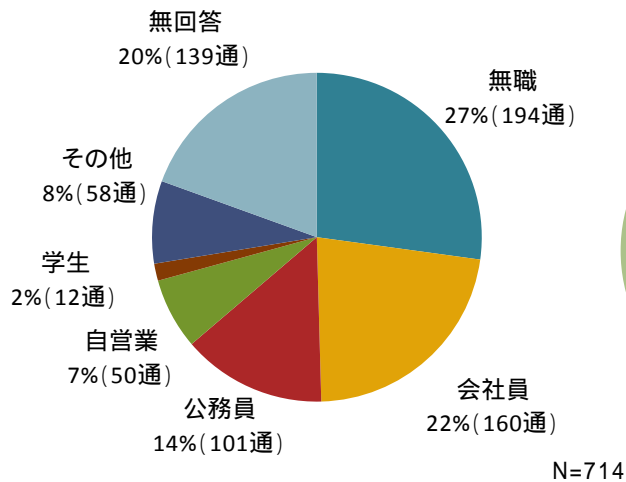
【性別】



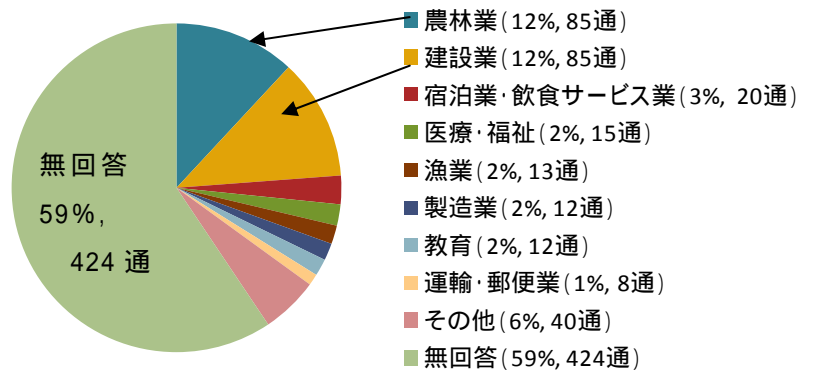
【年齢】



【職業】



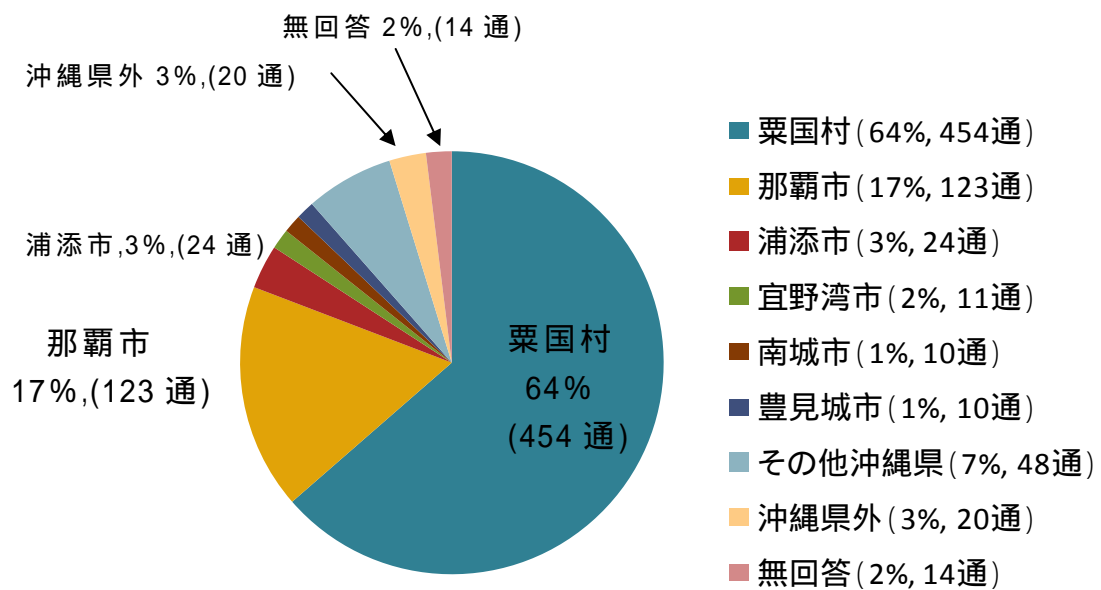
【業種】



居住地：回答者の居住地は、粟国村が 64%（454 通）と最も多く、次いで、那覇市が 17%（123 通）でした。沖縄県以外の回答者は 3%（20 通）であり、約 95% は沖縄県居住者でした。

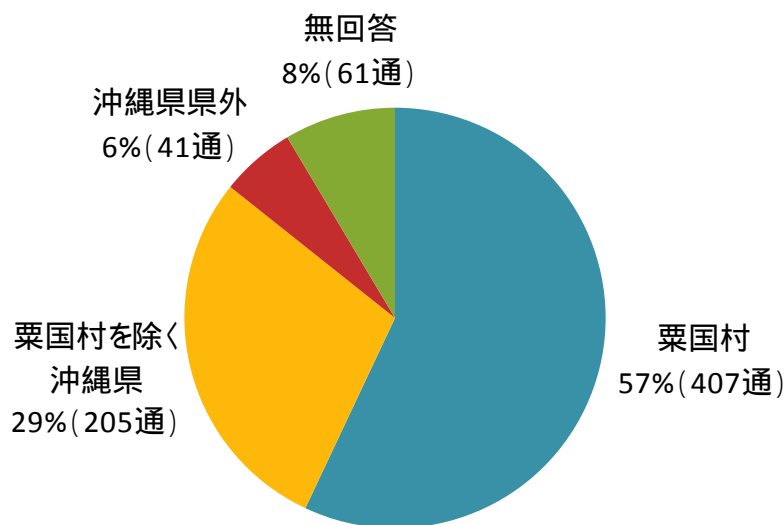
出身地：回答者の出身者は、粟国村が 57% と半数以上を占め、粟国村を除く沖縄県出身者 29% を含めると、沖縄県出身者は 8 割以上を占めます。

【居住地】



N=714

【出身地】



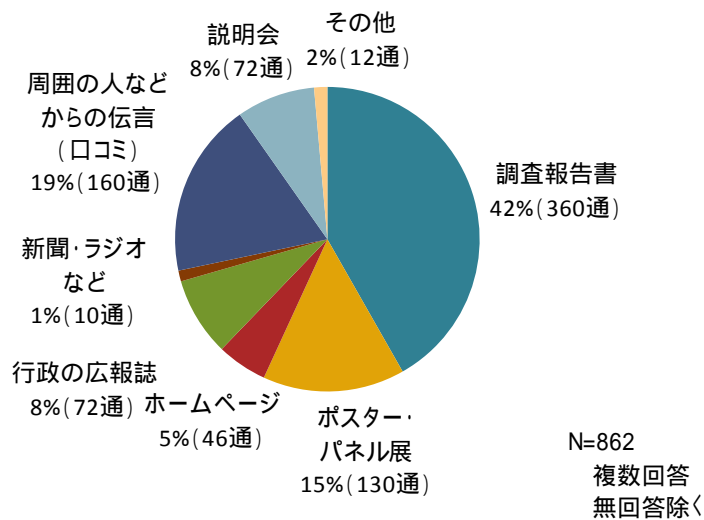
N=714

PI 活動情報を知った情報メディア（ご意見募集用紙：問1）

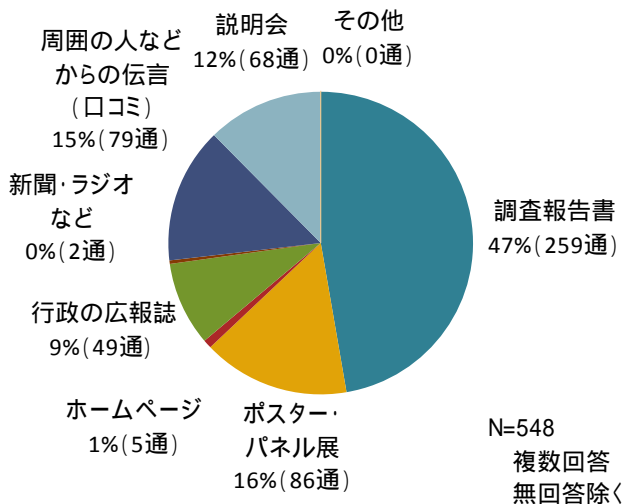
問1：今回の意見募集が行われていることをどのような形でお知りになりましたか

- PI 活動の実施を知った情報メディアは、「調査報告書」が最も高い割合を占めます。特に、粟国村では、調査報告書を各世帯に配布した効果が表れています。
- ポスター・パネル展も高い周知効果がみられます。
- 粟国村以外では、周囲の人などからの伝言（口コミ）が高い割合を占めます。郷友会等により、沖縄本島にお住まいの方々に口コミで広がったことが考えられます。
- ホームページへの掲載も、粟国村以外の方々への周知効果が確認できた。

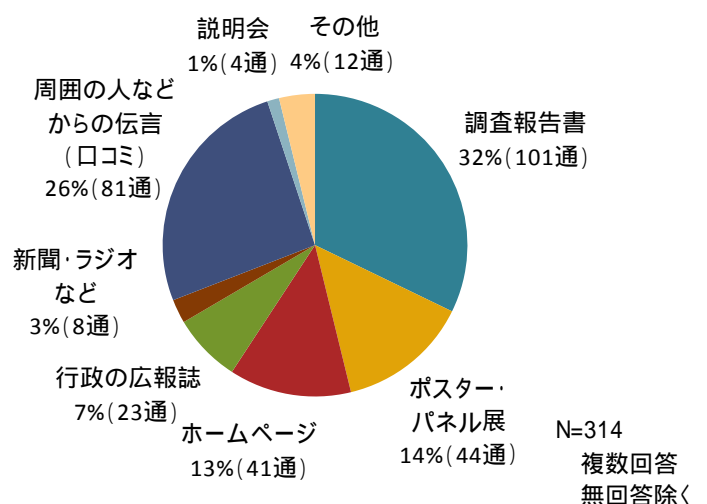
【全回答】



【粟国村居住者】



【粟国村以外の居住者】

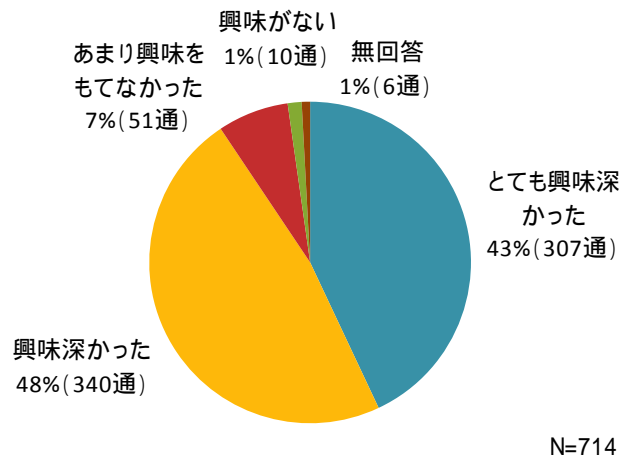


調査報告書への興味（問2）

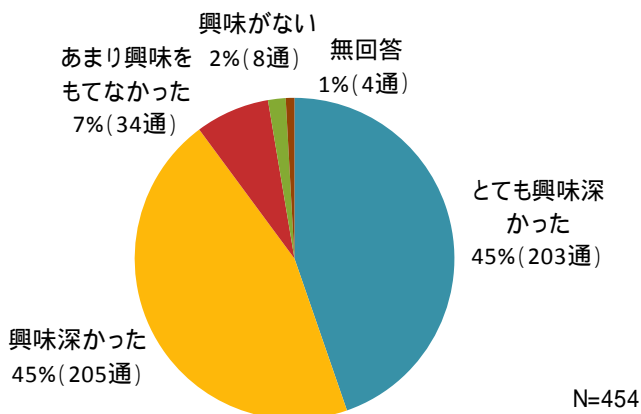
問2：今回ご提供した「栗国空港の調査報告書」の内容について、興味を持ちましたか

- 「とても興味深かった」、「興味深かった」と回答した人は、全体で9割以上を占めます。
- 栗国村居住者、栗国村以外に居住されている回答者において、回答に大きな違いは見られません。

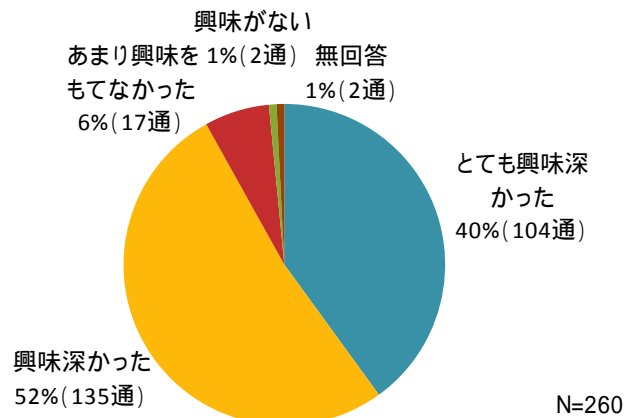
【全回答】



【栗国村居住者】



【栗国村以外の居住者】



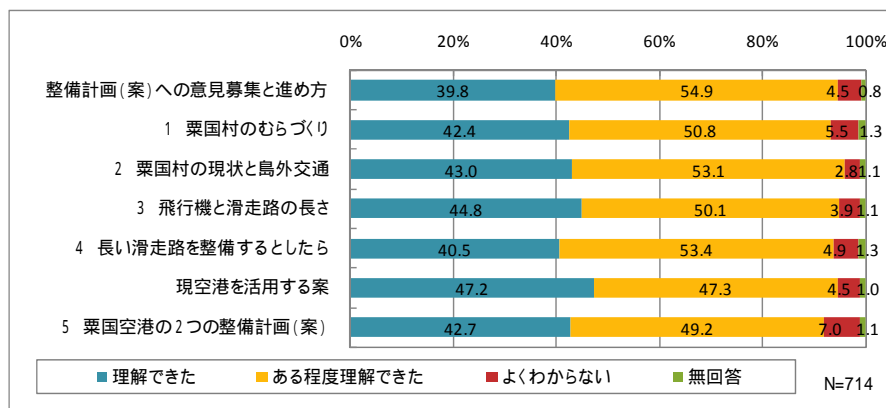
情報提供内容の理解度（問3～9）

問3～9：お読み頂いた「栗国空港の調査報告書」の内容について、どの程度ご理解いただけましたか

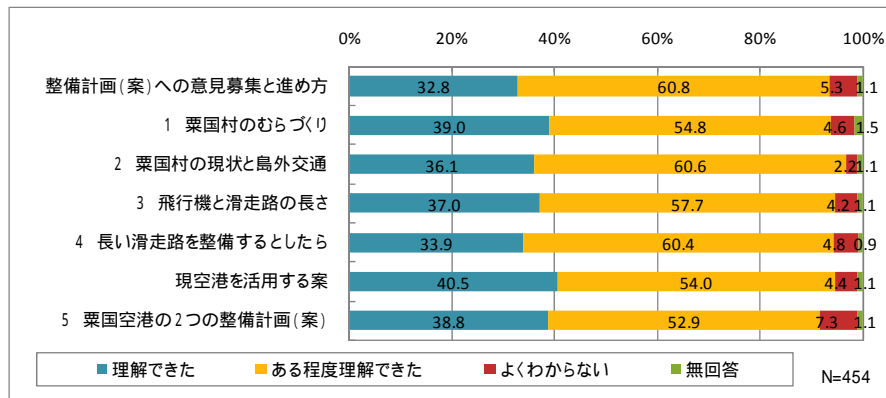
○「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人は全ての内容において90%を越えており大きな隔たりは見られません。

○回答をお寄せいただいた栗国村居住者のみなさまにおいても、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人は、約90%を超えています。

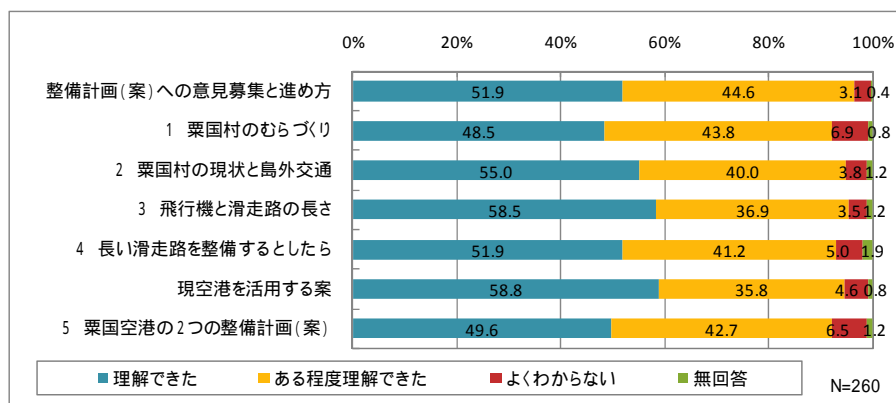
【全回答】



【栗国村居住者】



【栗国村以外の居住者】

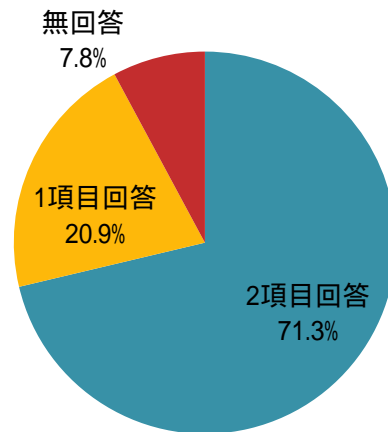


将来の対応方策を検討する上で重要と思う項目（問 10）

1) 粟国空港の将来の対応方策を検討する上で、何が重要だと思いますか（自然環境、社会環境、事業費、土地利用、早期整備、現空港の活用の中から2つ以内で選択）

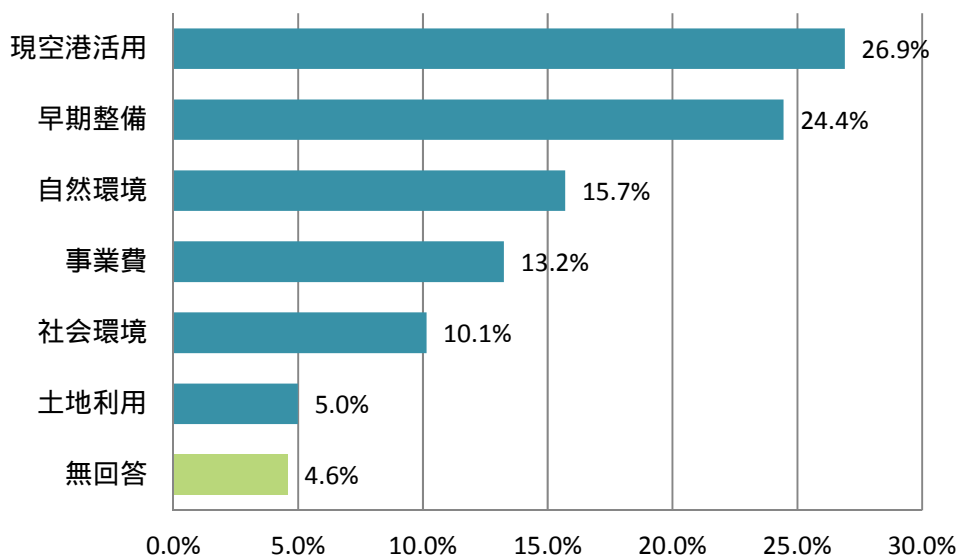
- 重要と考える項目について、約7割の人が2項目を選定しています。
- 選定された重要項目では「現空港の活用」(約27%)と「早期整備」(約24%)が多く、この2つで全体の半数を占めます。次いで多いのは「自然環境」(16%)、事業費(約13%)です。

【選定された重要項目の割合】



選択された評価項目	回答数(n=714)
2項目回答	509
1項目回答	149
無回答	56

【選定された重要項目の内訳】

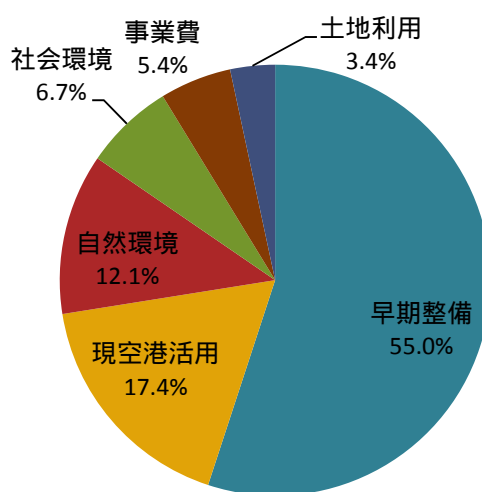


○149 人の方が重要と考える項目として1項目を選択しており、そのうち、半数以上が「早期整備」(55%)と回答していました。

○また、509 人の方が重要と考える項目として2項目を選択しており、最も多い組み合わせが「早期整備と現空港の活用」(約19%)であり、次いで「自然環境と現空港の活用」(約15%)、「事業費と現空港の活用」(約14%)となっています。

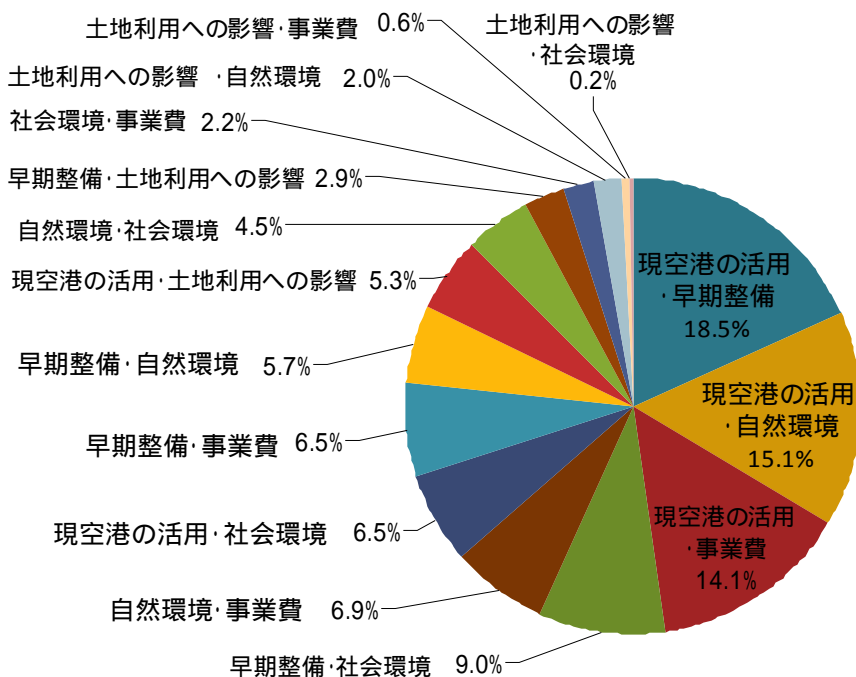
【重要とした選択項目の組み合わせ(1項目選択した方を対象)】

選択された評価項目	回答数(n=149)
早期整備	82
現空港活用	26
自然環境	18
社会環境	10
事業費	8
土地利用	5



【重要とした選択項目の組み合わせ(2項目選択した方を対象)】

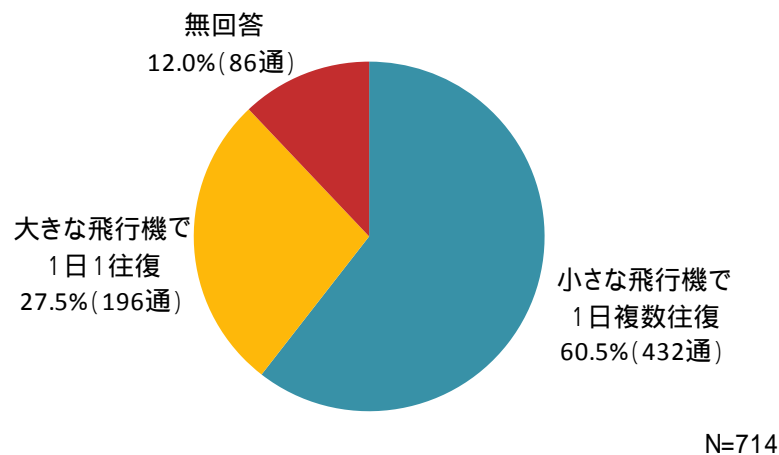
選択された評価項目	回答数(n=509)
現空港の活用・早期整備	94
現空港の活用・自然環境	77
現空港の活用・事業費	72
早期整備・社会環境	46
自然環境・事業費	35
現空港の活用・社会環境	33
早期整備・事業費	33
早期整備・自然環境	29
現空港の活用・土地利用への影響	27
自然環境・社会環境	23
早期整備・土地利用への影響	15
社会環境・事業費	11
土地利用への影響・自然環境	10
土地利用への影響・事業費	3
土地利用への影響・社会環境	1



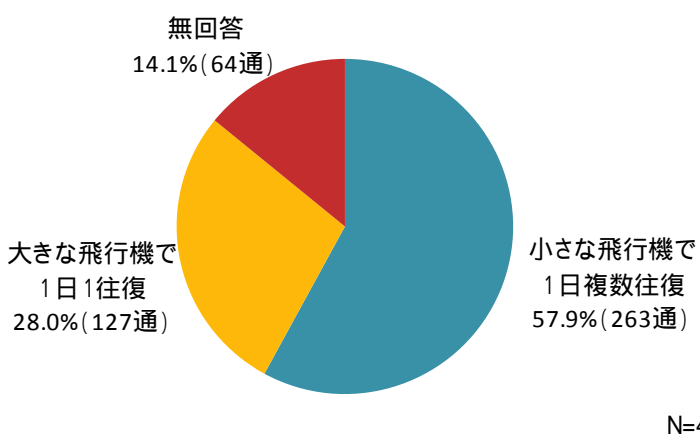
2)「飛行機の大きさ」と「便数」について、どちらかひとつを選んでチェックしてください(小さな飛行機(9席・19席)で1日複数往復/大きな飛行機(39席)で1日1往復)

- 「小さな飛行機(9席・19席)で1日複数往復」が61%を占めており、「大きな飛行機(39席)で1日1往復」の2倍以上の割合に上ります。
- 運航頻度(便数)を重要としている傾向が見られます。
- 栗国村居住者、栗国村以外の居住者で比較してもほぼ同様です。

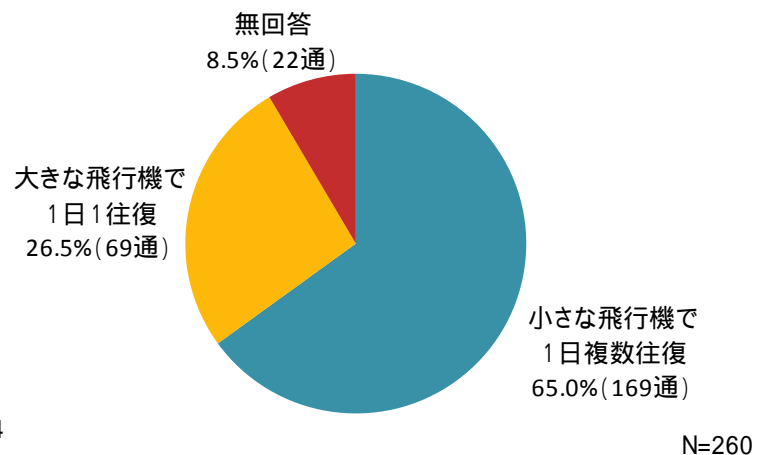
【全回答】



【栗国村居住者】



【栗国村以外の居住者】

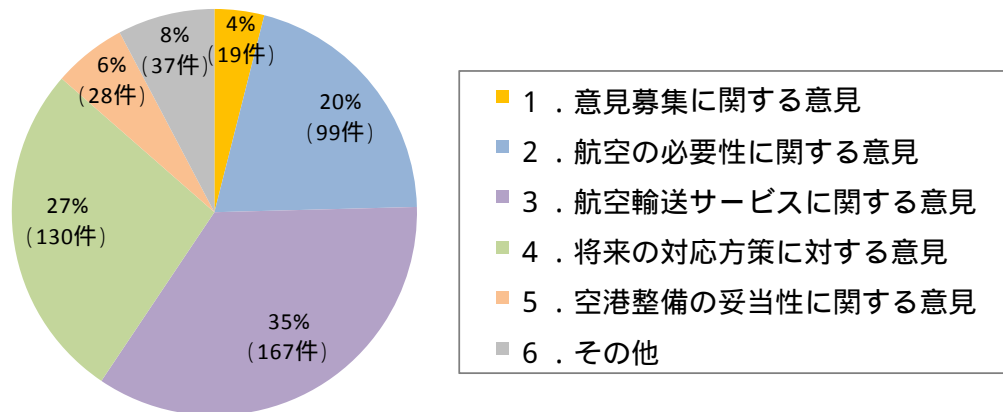


寄せられた自由意見の分類（問 11）

○全 714 通のうち自由意見が書かれていたものが 313 通ありました。

○この自由意見を内容別に分類整理すると 480 件の意見に整理(P10 参照)されました。

【内容別に分類した自由意見の割合】



内容別に分類した自由意見の件数と割合	件数	割合
1. 意見募集に関する意見	19	4%
PI活動の進め方に関する意見	13	3%
調査報告書に対する意見	6	1%
その他	0	0%
2. 航空の必要性に関する意見	99	20%
船舶は欠航が多くてあてにならないという意見	27	6%
島で安心して暮らすために航空が必要だという意見	23	5%
産業の振興には航空が必要だという意見	22	5%
その他	27	6%
3. 航空輸送サービスに関する意見	167	35%
飛行機の大型化を望む意見	81	17%
内、19席の飛行機を支持する意見	20	(4%)
内、39席の飛行機を支持する意見	6	(1%)
1日2往復以上を望む意見	34	7%
定期航空路を望む意見	10	2%
その他	42	9%
4. 将来の対応方策に対する意見	130	27%
滑走路整備を支持する意見	67	14%
内、A案を支持する意見	6	(1%)
内、B案を支持する意見	10	(2%)
内、早期に整備して欲しいとする意見	47	(10%)
現空港活用案を支持する意見	33	7%
内、整備に反対する意見	18	(4%)
自然環境への影響を懸念する意見	19	4%
その他	11	2%
5. 空港整備の妥当性に関する意見	28	6%
航空会社の採算性に関する意見	10	2%
航空需要予測に関する意見	6	1%
空港整備の費用対効果に関する意見	2	0%
その他	10	2%
6. その他	37	8%
船舶サービスに対する要望	4	1%
粟国村の振興策に関する要望	15	3%
その他	18	4%
合計	480	100%

寄せられた自由意見は、沖縄県空港課ホームページでご確認いただけます。

(アドレス：<http://www.pref.okinawa.jp/airport/index/>)

寄せられた意見とその対応（意見総数 313 通 分類後 480 件）

寄せられた意見	意見に対する対応
1. 意見募集に関する意見 19 件	
P I の進め方に関する意見（13 件） ・情報を広く公開し丁寧に説明してほしいという意見 ・村民の意見によく耳を傾けて進めてほしいという意見	意見募集にあたっては、インターネット、マスメディア、郷友会及び自治組織を利用して幅広く意見を集められるよう努めました。特に粟国村民には各世帯にパンフレットを配布し、必要に応じて説明を行っております。今後も粟国村をはじめ県民の皆様に必要な情報を提供し、事業の透明性の確保に努めていきます。
・寄せられた意見から「事業の必要性」と「施設整備の妥当性」をどのように判断するのかわからないという意見	事業化に向けた検討を継続するか否かの判断は、頂いた意見やこれまでの検討結果を踏まえ、事業主体が総合的に判断して決定します。
・ハガキの設問項目が分かりにくいという意見	設問ハガキでは、意見を記入しやすく表現するよう努めました。今後、よりわかりやすい内容で情報提供できるよう努めます。
調査報告書に関する意見（6 件） ・パンフレットの紙面構成に関する意見	調査報告書を作成するにあたっては、必要な情報をできるだけわかりやすい内容で表現するよう努めました。よりわかりやすい内容で情報提供できるよう努めます。
・より具体的な内容を知りたいという意見	検討状況の進捗に応じて、適宜情報を提供してまいります。
2. 航空の必要性に関する意見 99 件	
船舶は欠航が多くあてにならないという意見（27 件） （船は長期間欠航することがある。生活物資の輸送に航空が必要である） 島で安心して暮らすために航空が必要だという意見（23 件） （那覇市内の病院に通院するのに航空が必要である） （離れた家族との行き来に航空が必要である） 産業の振興に航空が必要だという意見（22 件） （空港整備は観光業の振興、島の発展に寄与する） （飛行機を使用して水産物、農産物を出荷したい） その他（27 件） （航空路維持のため早めに対応してほしい）	粟国空港協議会では、欠航の多い船舶のみに依存しない、那覇との交通体系を確立するため、安定して運航する定期航空路の再開設を考えております。

3. 航空サービスに関する意見 167 件	
飛行機の大型化を望む意見（81 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ 19 席の飛行機を支持する意見（内 20 件） ・ 39 席の飛行機を支持する意見（内 6 件） 	自由意見のなかで最も意見が多かった内容で、飛行機の大型化が望まれていることがわかりました。飛行機の大型化の実現は、航空会社の協力が必要不可欠です。 みなさまのご意見を踏まえ、19 席、39 席の両面から航空機の大型化の実現に向け、航空会社と具体的な検討を深めてまいります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現滑走路でも離着陸ができる 19 席の飛行機の運航を望む声が多く見られました。しかし、県内では、19 席の飛行機を運航している航空会社はありません。航空会社は、新しい飛行機、交換部品を調達し、パイロット、整備士の確保など運航するための環境を整える必要があるため、運航会社への支援策等を検討します。 ・ 一方、39 人乗りの飛行機は、県内の航空会社が保有していますので、滑走路が延長されれば、39 席の飛行機の運航が実現する可能性が高いです。
1 日 2 往復以上を望む意見（34 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日 1 往復では使い勝手が悪いとする意見 ・ 現空港を活用した航空サービスを支持する意見 ・ 大きな飛行機で 1 日 2 往復以上を望む意見 定期航空路を望む意見（10 件） その他（42 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠航が少ない飛行機を運航してほしいとする意見 ・ 利用者が多い日には臨時便を運航してほしいとする意見 ・ 航空運賃の低減してほしいとする意見 ・ 貨物輸送ができる飛行機を運航してほしいとする意見 	現在、国と県では、粟国 - 那覇路線を含む小規模離島航空路（6 路線）において、離島住民の移動コストの低減化を図る実証実験を実施しています。 また、航空サービスに対する要望は、みなさまから頂いた意見・要望を踏まえ、県と村が主体となって航空会社とともに検討していきます。
4. 将来の対応方針に対する意見 130 件	
滑走路整備案を支持する意見（67 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ A 案を支持する意見（内 6 件） ・ B 案を支持する意見（内 10 件） ・ 早期整備を実施して欲しいとする意見（内 47 件） 現空港活用案を支持する意見（33 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備に反対する意見（内 18 件） 	P I 活動終了後に「粟国空港の整備事業」の事業化に向けた検討を継続するか否かを判断します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業化に向けた検討を継続すると判断した場合には、P I の実施結果やこれまでの技術的な検討結果を踏まえ、整備の方向性として A 案と B 案のいずれの案を進めるかを検討します。その上で、飛行方式の設定など定期航空路の開設に向けた課題を整理し、空港整備の事業化に向けて取り組んでいきます。 ・ 事業化に向けた検討と併せて、航空会社への支援策や現空港を活用した粟国 - 那覇路線の維持・拡充の検討に取り組みます。

<p>自然環境への影響を懸念する意見（19件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境へ配慮した計画にしてほしいとする意見 ・海を埋め立てないでほしいとする意見 	<p>A案の空港配置は、海上部の埋立面積を極力少なくなるよう配慮し、農業用地や土地改良区に寄せて計画しています。B案の空港配置では、海上部へ突出しないよう村民牧場に空港を計画しています。</p> <p>いずれの案で進める場合にも、自然環境への影響を調査し、自然環境に与える影響を小さくする対策や保全対策を立て実施していきます。</p>
<p>その他（11件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸地側のみに延長した計画は検討しないのかという意見 	<p>現滑走路の延長案では、陸側だけの延長案も過去に検討した経緯がありますが、陸上部には基幹産業の農業を振興する観点から土地改良事業が実施されており、この事業と整合を図る上で海側へ延長することが望ましいと判断しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・空港拡張により東西を分断しないように道路を通してほしいという意見 	<p>滑走路の整備にあたっては、既存道路の替わりになる道路を含め、検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルビルなど建築物の設計において、着陸機に与える乱気流が滑走路上に発生しないよう留意してほしいという意見 	<p>事業化に向けた検討を進める場合には、ターミナルビル等の建築物の計画において着陸する航空機への安全性の影響を考慮した計画となるよう留意します。</p>
<p>5. 空港整備の妥当性に対する意見 28件</p>	
<p>航空会社の採算性に関する意見（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39席の飛行機の採算性を疑問視する意見 	<p>39人乗りの飛行機は、県内の航空会社が保有していますので、滑走路が延長されれば、39席の飛行機の運航が実現する可能性があります。必要な路線については、公費を投入してでも維持されるべきと考えておりますが、検討にあたっては、採算性についても十分検討を行います。</p>
<p>航空需要予測に関する意見（6件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空需要予測の根拠を知りたいという意見 ・航空需要予測結果を疑問視する意見 	<p>航空需要予測は、まず、1) 粟国と沖縄本島間の旅客流動量を社会経済の変化や地域間の交通利便性の変化と粟国と本島間の流動を関連付け、将来想定される社会経済状況や交通利便性により予測しました。続いて、2) 粟国と本島各地域の旅客流動の分布状況を把握し、本島各地域を出発・目的地とする地域別シェアを算出するモデルを作成し、粟国と本島各地域間の旅客流動量を予測しました。次に、3) 交通機関別のサービス水準をもとに交通機関分担モデルを作成し、将来の交通サービス水準の変化が生じた場合の交通機関分担率を予測しました。</p> <p>那覇 - 粟国路線の需要予測値は、2) で算出した旅客流動量に3) 航空分担率を乗じ、集計して算出したものです。なお、今後の事業化に向けた検討を進める場合には、需要予測についても再確認を行います。</p>

<p>空港整備の費用対効果に関する意見（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の結果を疑問視する意見 	<p>費用便益分析は、国が示している「空港事業の費用対効果分析マニュアル Ver.4」に基づき算出しています。航空輸送による直接的な効果を計算しており、空港建設や維持管理にかかる費用に対して、就航率向上による移動機会の向上、移動時間の短縮等による効果を費用換算しています。評価期間を空港建設期間+50年、評価基準年を2010年度です。なお、今後の事業化に向けた検討を進める場合には、需要予測、事業費の再確認等により、分析結果に変化が生じる可能性もあります。</p>
<p>その他（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港を整備するより航空会社を支援したほうが良いとする意見 ・この事業に対して費用をつぎ込むことを疑問視する意見 ・空港整備よりも航空会社への支援を検討すべきだとする意見・空港整備よりも医療を充実すべきだとする意見 ・パイロットにヒアリングしたところ、（滑走路と風向きなどについて）A案、B案ともに運航上大きな問題はないとする意見 	<p>事業化に向けた検討を継続するか否かの判断は、寄せられた意見やこれまでの検討結果を踏まえ、事業主体が総合的に判断して決定します。</p>
<p>6. その他 37件</p>	
<p>船舶サービスに関する意見（4件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠航が少なくなるよう港を改良してほしいという意見 ・高速船を運航してほしいという意見 <p>粟国村の振興策に関する要望（15件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興策に力をいれるべきだとする意見 ・特色ある農業による振興を期待する意見 <p>その他（18件）</p>	<p>粟国空港協議会では、欠航の多い船舶のみに依存しない、那覇との交通体系を確立するため、安定して運航する定期航空路の再開設を考えております。</p>

3 . P I 活動結果の評価

(1) 評価方法

P I 活動の評価対象、評価の方法は以下に示すとおりである。

評価の対象

P I で実施した「調査報告書」に関する周知・P R 活動及び情報提供・意見収集活動と、それらの活動を通じて収集した意見への対応を、評価対象とする。

評価の方法

P I 活動の実施内容・実施結果は、以下に示す4つの視点で評価を行う。

視点 P I 活動は適切に行われたか

「P I 実施計画書」と比較して、「計画通りに活動が実施されたかどうか」について評価する。

視点 提供する情報は周知されたか


P I 活動への参加状況や周知活動状況を把握し、P I 実施が「多くのP I 対象者に周知されたか」について評価する。

視点 提供した情報が共有され理解されたか


意見収集により得られた情報を基に、「提供した情報がP I 対象者に対して共有され、理解されたか」について評価する。

視点 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか

寄せられた意見の内容を分析し、寄せられた意見に対して「対応が示されているか」について評価する。



P I 活動の総合評価



(2) P I 活動の評価

視点 P I 活動は適切に行われたか

「 P I 実施計画書 」と比較して、「計画通りに活動が実施されたかどうか」について評価する。

評価

周知・ P R 活動では、調査報告書のとりまとめに期間を要し、行政広報誌等への記事の掲載が出来ませんでした。代わりにポスター、チラシを増刷し、掲示場所や配布場所の拡大を図りました。
 情報提供・意見収集では、ラジオ放送の放送枠が確保できずにラジオ放送による広報は出来ませんでした。調査報告書を大幅に増刷して情報提供・意見収集に力を入れました。
 ホームページへの掲載では、沖縄県トップページに情報を掲載しました。「銀座わしたショップ」をはじめ沖縄県外でも P I 活動を P R しました。

「 P I 実施計画書 」に示されている活動が一部計画通りに実施出来ませんでした。その代わりとなる P I 活動に力を入れるなど、P I 活動は臨機の対応により適正に行われたと判断しました。

	活動内容	P I 実施計画書との対比	結果
周知・広報	行政広報誌、新聞等への記事掲載	計画通り実施出来ず	調査報告書のとりまとめに期間を要し、広報誌の原稿締切日に間に合わず掲載できませんでした。
	ポスター掲示	掲示場所を追加して実施 (150部 190部)	粟国村役場、沖縄県庁、粟国村等に加え、那覇空港事務所などでも P I 実施の周知を行いました。
	チラシの配布	配布場所を大幅に追加して実施 (2,000部 2,335部)	沖縄県東京事務所、沖縄観光コンベンションビューロー、県外のわしたショップ、離島フェアにもチラシを追加配布し P I 実施の周知を行いました。
	ラジオ放送	放送期間を実施 (5日 2日)	5 日間の放送を申請し、2 日間実施することができました。
	ホームページへの情報掲示	概ね計画通り実施	粟国空港 P I ホームページを開設し、P I 活動の新着情報、ポスターの掲載等を行いました。沖縄観光コンベンションビューローに掲載できませんでしたが、沖縄県トップページに掲載しました。
情報提供・意見収集	行政広報誌、新聞等への記事掲載	一部計画通り実施 (3誌 2誌)	広報誌 2 誌に、P I 実施の周知記事を掲載しました。1 誌は掲載スペースを確保できませんでした。
	ラジオ放送	計画通り実施出来ず	その他の放送内容との調整により時間枠が確保できず、放送することができませんでした。
	調査報告書の配布	掲示場所を大幅に追加して実施 (2,000部 3,520部)	粟国村の各世帯などの計画に加え、航空会社、沖縄都市モノレール駅への備え置き、郷友会等の協力を得て粟国村出身者等に配布しました。
	説明会	計画通り実施	粟国村居住者だけでなく、沖縄本島在住の粟国村出身者に対して説明会を 2 回開催しました
	パネル展示	概ね計画通り実施	調査報告書の B 2 版のパネル展示を沖縄県庁 (2 箇所)、粟国村 (2 箇所) で行いました
	ホームページへの情報掲示	概ね計画通り実施	周知・広報のホームページへの情報掲示と同様
	意見収集	計画通り実施	約 1 カ月にわたり意見募集を実施し、意見収集数はハガキが 649 通、ホームページが 65 通、合計で 714 通となりました。

視点 提供する情報は周知されたか

PI活動への参加状況や周知活動状況を把握し、PI実施が「多くのPI対象者に周知されたか」について評価する。

評価

「調査報告書」は当初計画の2倍の4,000部に増刷し、那覇モノレールなどの交通要所にも追加で備え置き、3,520部を配布しました。

パネル展示、ホームページを通じて「調査報告書」に関する情報を提供していません。

その結果、頂いた回答は合計714通になりました。

粟国村居住者に対しては、区長の協力を得て「調査報告書」を各世帯に配布したほか、回答の回収も促し、粟国村人口864人の52%、世帯数を超える454通の意見を頂きました。(平成22年度国勢調査 人口・世帯数)

提供した情報は、粟国村、粟国村以外の方にも周知できたと判断しました。

PI活動結果		評価
調査報告書配布数	3,520部	計画当初の2倍に増刷し、広く情報を提供しました
頂いた回答数	714通	粟国村の人口(864人)の半数以上、世帯数(378世帯)を越える回答を頂きました
粟国村居住者から頂いた回答数	454通	

視点 提供した情報が共有され理解されたか

意見収集により得られた情報を基に、「提供した情報がP I対象者に対して共有され、理解されたか」について評価する。

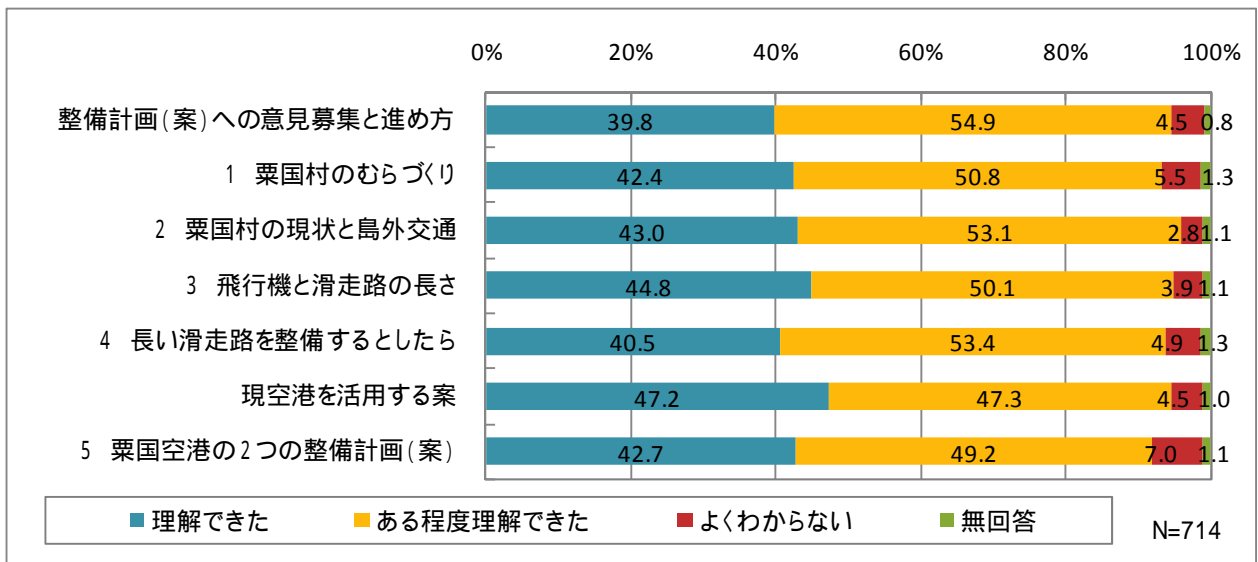
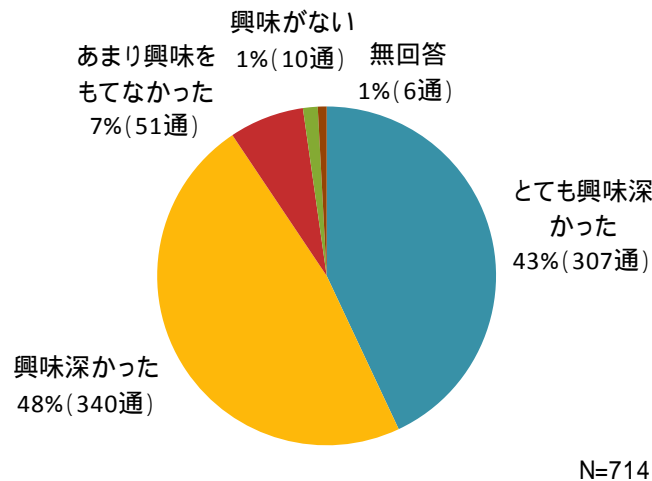
評価

調査報告書の内容について「とても興味深かった」、「興味深かった」と回答した人は9割以上を占めており、粟国空港の整備に興味をもって頂けたと考えます。

調査報告書の理解度も、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人はいずれの項目も90%を超えており、多くの方に理解して頂けたと考えます。

P I活動を通じて提供した情報は、粟国村、粟国村以外の方にも理解できたと回答をいただいた。

< 調査報告書の内容についての興味 (全体) >



視点 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか

寄せられた自由意見の内容を分析し、寄せられた自由意見に対して「対応が示されているか」について評価する。

評価

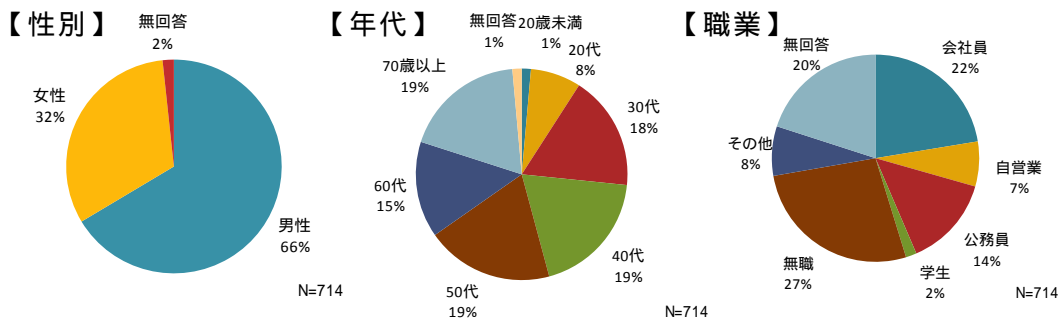
主なPI対象者である粟国村居住者はもとより粟国村以外の方にも、幅広い年齢層からたくさんの自由意見を頂くことが出来ました。

自由意見への総数は313通であり、その自由意見を内容別に480件に分類しました。このうち粟国村居住者が179通(268件)と57%(179通/313通)を占めます。

寄せられた自由意見は、主な意見を集約するとともに、質問、提案、要望などについては、粟国空港協議会としての考え方や今後の対応策を検討し示しました。

PI活動を通じて、幅広く意見を収集することができ、その対応を提示しました。

< 回答者の属性 >



< 自由意見への対応状況 >

	件数	質問	要望・提案	対応
1. 意見募集に関する意見	19			
PI活動の進め方に関する意見	13			
調査報告書に対する意見	6			
2. 航空の必要性に関する意見	99			
船舶は欠航が多くてあてにならないという意見	27			
島で安心して暮らすために航空が必要だという意見	23			
産業の振興には航空が必要だという意見	22			
その他	27			
3. 航空輸送サービスに関する意見	167			
飛行機の大型化を望む意見	81			
内、19席の飛行機を支持する意見	20			
内、39席の飛行機を支持する意見	6			
1日2往復以上を望む意見	34			
定期航空路を望む意見	10			
その他	42			
4. 将来の対応方策に対する意見	130			
滑走路整備を支持する意見	67			
内、A案を支持する意見	6			
内、B案を支持する意見	10			
内、早期に整備して欲しいとする意見	47			
現空港活用案を支持する意見	33			
内、整備に反対する意見	18			
自然環境への影響を懸念する意見	19			
その他	11			
5. 空港整備の妥当性に関する意見	28			
航空会社の採算性に関する意見	10			
航空需要予測に関する意見	6			
空港整備の費用対効果に関する意見	2			
その他	10			
6. その他	37			
船舶サービスに対する要望	4			
粟国村の振興策に関する要望	15			
その他	18			
合計	480			

(3) P I 活動の総合評価

< 視点 P I 活動は適切に行われたか >

P I 活動は一部計画通りに実施できませんでしたが、調査報告書を計画の 2 倍の 4,000 部に増刷して情報提供・意見収集を行うなど、代りとなる P I 活動に力を入れ、臨機の対応により適正に行えたと判断しました。

< 視点 提供する情報は周知されたか >

P I 活動が適切に行われた結果、栗国村では人口の 52%にあたる 454 通の回答を頂いたほか、栗国村以外の方からも 260 通の回答を頂きました。提供した情報は周知されたと判断しました。

< 視点 提供した情報が共有され理解されたか >

周知された情報は、回答者の 9 割以上の方々が理解できたと回答されました。

< 視点 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか >

714 通の回答を頂き、このうち 313 通には自由意見が書かれていました。自由意見は 480 件の意見に分類整理し、栗国村居住者をはじめ多くの方々の考え方を幅広く把握しました。また、質問、提案、要望に対しては、栗国空港協議会としての考え方や今後の対応を示しました。

P I 活動の実施目標の達成に向けて、P I 活動で、特に栗国村では区長を通じて各世帯に情報提供（冊子の配布）を行い、意見募集を推進して回るなど活動を行いました。

栗国村、那覇市内での説明会では、集まった郷友会等に協力を依頼し、新年会など大勢が集まる機会において調査報告書を配布して頂きました。

このような活動により、栗国村居住者の回答は 454 通を占め、栗国村人口（864 人）の 53%、世帯数（378 世帯）を越える回答を頂きました。

以上より、P I の実施目標を達成できたと判断しました。

～ P I 実施目標～

事業の必要性や施設計画の妥当性について、情報を P I 対象者と共有し、P I 対象者の意見を把握することを目標とします。

栗国村に対しては全世帯に情報提供（冊子の配布）を行います。

栗国村の全世帯の約 8 割から意見の収集を目指します。

栗国空港整備計画に関する P I 実施計画書

4 . P I 評価委員会の評価・助言

開催状況

P I の活動期間中に「粟国空港 P I 評価委員会」を 2 回開催しました。

(1) 第 3 回粟国空港 P I 評価委員会の概要

1) 日 時 : 平成 22 年 11 月 2 日 (火) 10:00 ~ 12:00

2) 場 所 : オーガストイン久茂地 LB 階 会議室

3) 出席者

委員 (順不同)

沖縄国際大学 経済学部 教授 大城 保 (委員長)

琉球大学 工学部 教授 堤 純一郎

フリージャーナリスト 崎山 律子

粟国空港協議会

沖縄県、粟国村

4) 議事内容と P I 評価委員会からの評価・助言

第 3 回粟国空港 P I 評価委員会において、「 P I の情報提供及び意見募集方法」のほか、提供する情報をまとめたパンフレット「粟国空港の調査報告書」や「ハガキ・ホームページによる意見募集」について、以下のような評価・助言をいただきました。

粟国空港 P I における情報提供及び意見収集募集方法 (案) について

11 月 26 日から 28 日に開催される沖縄県の離島フェアにおいても、調査報告書等を配布するとよい。

粟国村郷友会を中心とした関係団体があり、飲食店の関係者が多いと聞いていますので、そのような方々の協力を得て周知してはどうでしょうか。

P R チラシ等の配布で東京事務所やわしたショップなどを活用して、多少は県外でアピールして欲しい。

粟国空港の調査報告書 (案) について

< 検討の概要 >

検討概要は、船の欠航がなければ定期航空路の再開設を考えないと捉えられる可能性があります。島内交通体系の充実や島とのつながりを持つことが、県のビジョンにおける離島力の発揮ということを見ると、離島力を発揮するには、交通が保障されなければならないことを入れて欲しい。

< 粟国村のむらづくり・現状と島外交通の課題 >

粟国村にとっては、粟国島をアピールするチャンスになります。3 頁のアンケート調査について、粟国島の住みにくい理由だけだと、粟国村の良いイメージになりません。住み良い理由のトップ 3 も併記すれば、住みに

くいの中に、どのような住みやすさがあるのかを示すことによって、粟国島の魅力も出て、観光資源も分かると思います。「むんじゅる笠」を入れるなど、粟国村を象徴するようなものを入れた方がアピールになるとと思います。

離島力の発揮は重要な話になってくると考えており、離島に住むこと、有人離島が存在することの重要性を強調した方がよいと思います。また、最近の言い方で交通権（交通の権利）というものがありますが、離島では交通の利便性を確保・保障することを前提に暮らすことが重要になります。離島の将来像として、離島に人が暮らすことが重要であるということ、このためには交通を確保することも重要であることを付け加えてほしい離島力の発揮は重要な話になってくると考えており、離島に住むこと、友人離島が存在することの重要性を強調した方がよい。

利用客の見込みの文章では、粟国村の特徴が伝わらず、交流体験をメニューに入れれば、観光客が増えるということではないため、ピーアルが弱い、具体的に粟国の塩など、観光客の見込みが得られそうなものがないと説得力に欠けます。粟国村にとっては、粟国島をアピールするチャンスになります。

< 利用客の見込み >

利用客の見込みでは、平成 32 年に 15,000 人を見込んでいます。平成 5 ~ 14 年まで 20,000 人を超え、その後なぜ減ってきたのかを考え、その原因を克服できれば、利用客が 25,000 ~ 30,000 人に増加する可能性はあるのではないのでしょうか。また、過去の実績や島の活性化を考えると、それ以上の見込みが期待できるのではないのでしょうか。期待見込みを入れ込んでもいいのではないかと考えます。

利用客の見込みの文章では、粟国村の特徴が伝わらず、交流体験をメニューに入れれば、観光客が増えるということではないため、ピーアルが弱い、具体的に粟国の塩など、観光客の見込みが得られそうなものがないと説得力に欠けます。

利用客の見込みについて、航空会社は（提供座席数の）7 割乗れば収益を確保できると言われており、39 人乗りを 26 ~ 27 人で往復すると、1 日 50 数人、年間で 18,000 ~ 19,000 人の実績になり、この利用客の数値を掲げても良いと思います。7 頁の 39 人乗りで 1 日 1 往復では使いづらいので、利用客が少し増えれば 2 往復になることを記載しても良いと思います。

39 人乗りで 1 日 1 往復では、日帰りできる状況になく、宿泊しないといけないため利用客は困ると思います。できれば 1 日 2 往復という期待を含め、過去の実績から 19,000 人に達すれば、1 日 2 往復する可能性があることをコメントすると良いと思います。

< 長い滑走路の整備を検討する理由 >

定期航空会社が持っている飛行機は 39 人乗りと書いてありますが、部品を確保しておかないといけないといけないこと、定期航空会社の場合、パイ

ロットは機種毎に免許を取らないといけないこと、航空会社が多様な機種を持つことは得策ではないことを入れても良いと思います。

< 将来の対応方策 >

整備計画 A、B 案の比較の中で、自然環境は重要な問題であり、A 案の「海域を埋め立てる」、B 案の「海域を埋め立てない」は大きな違いであるので、標記方法を工夫してほしいと思います。自然環境への影響は A 案の方が大きいことを明記すべきだと思います。

八ガキ・ホームページによる意見募集（案）について

職業欄については、時代に沿った選択項目とすべき。

ホームページのリンク先は、空港課だけでなく、沖縄県のトップページに掲載してはどうか。また航空会社のホームページへの掲載の協力を得てはどうか。

PI の実施においては、上記の助言を踏まえた検討を行い、調査報告書を取りまとめ、情報提供を意見募集に取り組みました。



(2) 第 4 回 粟国空港 P I 評価委員会の概要

1) 日 時 : 平成 23 年 3 月 29 日 (火) 9:30 ~ 11:30

2) 場 所 : オーガストイン久茂地 LB 階 会議室

3) 出席者

委員 (順不同)

沖縄国際大学 経済学部 教授 大城 保 (委員長)

琉球大学 工学部 教授 堤 純一郎

フリージャーナリスト 崎山 律子

粟国空港協議会

沖縄県、粟国村

4) 議事内容と P I 評価委員会からの評価・助言

第 4 回 粟国空港 P I 評価委員会において、「 P I 実施記録 (案) 」により、実施結果の報告、粟国空港協議会が P I 実施結果に対して行った「 4 つの視点からの評価」や「総合評価」について、評価いただいた。

委員会から以下のような評価・助言をいただきました。

粟国空港のパブリック・インボルブメント実施記録 (案) について

< P I 活動結果と分析 >

実施記録 (案) の P10 の自由意見を分類する方法について、例示する「さんの意見」は原文を活かすように 3 つに分類して記載してください。そのときに、参考資料 3 に記載されているように、「赤字を中心に分類・整理しています」と注記すると、誤解が生じないと考えます。

実施記録 (案) の P23 までの P I 活動結果、寄せられた意見については、P10 の自由意見の整理の仕方は原文を活用して修正することで、修正は事務局にお任せしたいと思います。

地元から多くの意見が寄せられていますが、男性と比べて女性の意見が少ないのはなぜでしょうか。人口比からすると、女性の方が少ないのか。

粟国村の人口は、男性が 430 人、女性は 387 人で男性の方が多い。

婦人会のような女性部会とか青年会、老人会などの組織の意見も大事だったと思いました。女性もいろいろな意見を持っていると思うので、女性達の声をもう少し盛り込めたらよかったですと思いました。

粟国村に住んでいる人の中で、男性、女性は何%いたのでしょうか。また、粟国村以外に住んでいる人はどうか。

粟国村の回答数が、世帯数を上回っているところは評価できると思います。

< P I 活動の評価について >

総合評価として、 P I の実施目標を達成できたとする判断は、かなり正しいと思います。 1 つ気になったのは、自由意見に「よくわからない」と回

答している人が出てくると達成できていないところもあったのかと思いました。A案、B案の比較のところに、船の方が良いという意見があり、空港整備とは異なる意見が散見されたわけですが、このPIはこれから航空行政を行っていく中で、どういう意味を持っているのかを十分理解していただけなかったのかと思いました。それを踏まえると、必ずしも全員がPIの趣旨を理解していただけなかったことは残念でした。全体としては少数意見ですが、そういう問題があったことを認識していただきたいと思います。例えば、参考資料3のP16に「意見募集でわかりづらい部分があった・・・」という意見がありますが、意見募集でどういう部分がわかりづらかったのかをフォローアップできれば良いと思います。

自由意見が細かく明記されているところはとてもよかったですと思います。現空港活用案を支持する意見の中に、空港整備案を反対する意見があり、この意見は自然環境への影響を懸念する意見ととても重なると思いますが、村長はどのようにお考えでしょうか。空港を拡張してほしいという意見がある一方で、採算性が取れるのかという懸念を踏まえると、空港整備に慎重な意見が無視できないくらい多いと思います。

実施記録(案)のP19に寄せられた意見の分類がありますが、改めてどういう意見を持っていたのかを知らせることも大事だと思います。委員が実施記録(案)を見てどう評価するかだけでなく、実施記録を見た人がどう評価するのも重要ですので、A案、B案の議論をする時に、寄せられた意見を見ながら、自分の意見も考える人もいると思います。参考資料3は実施記録にいれるのか、参考資料という扱いにするのか、どのように公表する予定でしょうか。

実施記録のP19には「自由意見の詳細については、ホームページを見て下さい」という形で明記して、参考資料3にもP19の整理した表を入れることによって、実施記録を見た人は自由意見も見て評価します。その評価は、事業に向けた検討の継続の有無を判断する際にも役に立つと思います。可能な限り自由意見を読んでもらうようにする方法を検討してください。PI評価委員会は、PIの実施目標を達成したと判断します。実施記録については、意見の分類方法、寄せられた自由意見の取扱いを事務局で検討してもらいたいと思います。

自由意見を見て、今後の事業展開を検討することができると思います。直接会話して言葉として伝えられる意見と、文字として伝えられる意見は多少のギャップがあると思うので、公開されることは大事ですが、自由意見は参考扱いになるかと思います。

実施記録の自由意見は、参考資料として原文のまま公表していただくということで、実施記録(案)は承認したいと思います。

粟国空港のパブリック・インボルブメント実施記録【概要版】(案)について概要版の内容としては問題ないが、最終結論があると良い。

委員会の結論は、実施記録（案）の P29 になります。概要版を修正するにあたっては、P I 活動の実施目標が達成されたかどうかの総合評価の判断材料、総合評価に至るまでの経緯が、本編の実施記録のどこに記載されているのかを明記して整理してください。

概要版は、委員から指摘された内容を反映し、修正内容は委員を代表して委員長が確認します。

委員会終了にあたり

今回の P I を受けて、粟国村の皆さんが自分たちの島のあり方を考えるきっかけになっていただければと思っています。

今回の P I は、空港整備ありきなのか、現空港活用するのか、それとも交通の確保が重要なのか、視点を間違えないように、そのうえで理解して進めていただきたい。必ずしも空港整備ありきで進んでしまわないことは重要ではないかと考えます。既存空港をどう活かすかも視点に入れて、よりよい方向を目指していただきたい。

事業に向けた検討を継続するかどうかについては、粟国村民、県民だけでなく、全国民に対して、なぜ粟国空港の整備事業が必要なのかを説明できる根拠を示していくことが重要と考えます。そういう意味では、今回 P I を丁寧に実施していただいたと感じています。その後のどのように活かし展開していくかが重要と考えます。是非、総合的に考えて進めていただきたいと思います。

上記の評価・助言を踏まえ、粟国空港協議会では P I 終了及び終了後の今後の取り組みについて、その基本的な考え方を取りまとめました。（参照：6 . 今後の取り組みについて）



(3) 栗国空港 P I 評価委員会規約

(設置)

第 1 条 栗国空港 P I 評価委員会 (以下「評価委員会」という) は、栗国空港協議会 (以下「協議会」という) が設置する。

(目的)

第 2 条 評価委員会は、協議会が行う栗国空港のパブリックインボルブメント (以下「P I」という) のプロセスや結果について、評価・助言を行うことにより P I の透明性、公平性及び公正性を確保することを目的とする。

(所掌事務)

第 3 条 評価委員会は、前条の目的を達成するために次の事項について評価、助言を行う。

- (1) P I 実施計画に関すること
- (2) P I 実施期間中の P I 活動に関すること
- (3) P I 実施結果に関すること

(構成)

第 4 条 評価委員会は、所掌事務の遂行に必要な有識者をもって構成し、委員の構成は別紙のとおりとする。

(第三者性)

第 5 条 委員は、評価委員会の目的に照らし、特定の行政機関及び特定の利害関係者等の利害を代表してはならない。

(委員の任期)

第 6 条 委員の任期は、評価委員会の所掌事務が完了するまでとする。

(委員長)

第 7 条 評価委員会には、委員長を置く。

(評価委員会の運営)

第 8 条 評価委員会は、委員長が招集し開催する。

- 2 評価委員会は、委員全員の出席をもって成立する。
- 3 評価委員会は、協議会に対し評価委員会の運営に必要な資料の提出を求めることができる。
- 4 評価委員会は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第 9 条 委員は、個人を識別させる情報や個人の権利利益を害する恐れのある情報などを漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(委員会の公開)

第 10 条 評価委員会は、特段の理由のある場合を除き、原則として公開とする。

(事務局)

第 11 条 評価委員会の事務局は、沖縄県に置く。

(その他)

第 12 条 その他、評価委員会運営に必要な事項については、協議会が定める。

附則

この規約は、平成 21 年 10 月 14 日より施行する。

(別紙)

粟国空港PI評価委員会委員名簿

氏 名	所 属	備 考
大城 保	沖縄国際大学 経済学部 教授	委員長
堤 純一郎	琉球大学 工学部 教授	
崎山 律子	フリージャーナリスト	

5 . P I の終了について

栗国空港のパブリック・インボルブメントの終了について、栗国空港のパブリック・インボルブメントは、栗国空港の整備計画の妥当性等に係る情報を P I 対象者（栗国村民、沖縄県民等）と共有し、P I 対象者の考え方を把握することを目標に活動を実施しました。

栗国空港協議会では、約 2 ヶ月間にわたる P I の活動結果を以下のように評価し、第 4 回 P I 評価委員会に報告しました。

「P I 実施計画書」に示した活動が一部計画どおりに実施できませんでした。その代替りとなる P I 活動に力を入れるなどの活動により、提供した情報（調査報告書）は、主な P I 対象者である栗国村民をはじめ、栗国村以外の方にも幅広く周知された。

また、調査報告書の配布部数 3,520 部を配布し、714 名（回答数）の方々から回答があり（回収率：20%）、そのうち 313 名（意見を述べた人）から自由意見が得られた。

寄せられた自由意見は 480 件（意見数）の意見に分類整理することにより、P I 対象者の考え方を広く把握することができ、また、質問、提案、要望が書かれた意見に対しては対応方針を示した。

以上より、P I の実施目標である「事業の必要性や施設計画の妥当性について、情報を P I 対象者と共有し、P I 対象者の意見を把握すること」は、達成できたと考える。

その結果、この評価は第 4 回栗国空港 P I 評価委員会において概ね妥当であると評価を頂き、これをうけて栗国空港協議会では、P I の実施目標は達成できたと最終的に判断し、栗国空港の P I を終了することに致しました。

平成 23 年 3 月 31 日
栗国空港協議会

6 . 今後の取組みについて

粟国空港 P I を 1 ヶ年度にわたって実施しました。その結果、粟国空港の必要性や整備の妥当性等については、一般の人々に概ね理解されたと考えています。

沖縄県は、粟国空港 P I 評価委員会の評価・助言をうけ、1 年間にわたって実施した粟国空港 P I の結果を踏まえ、今後とも現空港の有効活用や空港整備に向けた検討を継続することとしております。

そのため、P I が終了した後も粟国空港 P I のホームページを残し、空港計画等の進捗に応じた情報を随時更新することで、いつでも皆様が最新の情報を入手できる手段を用意します。航空路の確保に向けた検討や空港計画の技術的な検討についても、出来るだけ情報を公開する予定です。

粟国空港は、粟国港とともに沖縄本島と粟国村を結ぶ重要な交通の拠点です。粟国村の生活において、また村の方々や粟国村に来村する方々にも利用しやすい安定した航空路を確保できるよう、今後とも関係の皆さまのご理解、ご協力を賜りたいと考えています。

粟国空港協議会